情報科（情報Ⅰ）学習指導案

学習指導案の書式例と作成上の留意点

指導者　○○　○○

１　日時

令和○○年○○月○○日（○曜日）第○限（○○：○○～○○：○○）

２　場所

　　○○○○室

３　対象

　　○年○組（○○人）

４　学級観

単元や題材に関する既習状況，生徒の興味・関心などの実態を確認する。

　　この学級は・・・

５　使用教材

　　教科書　「情報Ⅰ」○○会社　　副教材　「○○○○」○○会社

６　単元

(1) 単元

第○章　○○○○　第○節　○○○○

(2) 単元の目標

　　○○○○○～～～

学習指導要領解説等や各学校で作成した「内容のまとまりごとの評価規準」を参考に

具体的に設定し，この単元で生徒が身に付ける資質や能力を総括的に記述する。

(3) 単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①○○○○○○○○○○○○○○について理解している。②○○○○○○○ができる技能を身に付けている。問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識の理解や技能の習得状況を評価する。文末は「～について理解している」「～ができる技能を身に付けている」 | ①○○○○○○○○○○○○○○している。②○○○○○○○することができる。問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための思考力，判断力，表現力等を身に付けているかを評価する。文末は「～している」「～することができる」粘り強さ（知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面），自らの学習の調整（粘り強い取組の中で自らの学習を調整しようとする側面）に加え，これらの学びの経験を通して涵養された，情報社会に参画しようとする態度について評価する。文末は「～しようとしている」 | ①○○○○○○○○○○○しようとしている。②○○○○○○しようとしている。 |

(4) 指導と評価の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ねらい・学習活動 | 重点項目・記録 | 評価方法 |
| 知 | 思 | 態 |
| １ | ○○○○・○○○○○○○・○○○○○○○ |  | ①〇 | ① | ・ワークシート・制作物 |
| ２ | ○○○○・○○○○○○○・○○○○○○○ | ②○ |  |  | ・ノート |
| ３本時 | ・○○○○○○○ |  | ②● |  | ・発表 |
| ４ | ○○○○・○○○○○○○ | ①● |  |  | ・ワークシート |
| ５ | ○○○○・○○○○○○○ |  |  | ②● | ・ワークシート |

観点別評価の３観点のうち，どの観点を評価するかを記述する。毎時間，３観点の全てを評価するのではなく，単元全体の中で３観点をバランスよく評価できるように計画する。丸数字①②は「単元の評価規準」に対応しており，「重点項目」には〇を，「記録」には●を明記している。

「重点項目」は重点的に生徒の学習状況を見取る観点を示している。重点としていない観点についても，生徒の学習状況を評価し，教師の指導改善や生徒の学習改善に生かすことは重要である。

「記録」は，評価規準に照らして，Ａ，Ｂ，Ｃのいずれであるかを判断し,全員の学習状況を記録に残すものである。

観点の略称は，「知」：「知識・技能」，「思」：「思考・判断・表現」，「態」：「主体的に学習に取り組む態度」を表している。

７　本時の指導

(1) 本時の目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○することができる。

単元の目標を達成するために，本時の学習を通して，生徒が身に付ける資質や能力を明確にし，目指す生徒像について記述する。

(2) 本時の教材（教科書以外）

・授業用スライド

・ワークシート

・確認テスト用プリント

・動画「〇○○○」

(3) 本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価の観点 |
| 導入（５分） | ・本時の学習内容 |  |  |
| 展開（40分） | ・グループワーク「○○○○」○○○○○○○○○○○○する。生徒の学習活動を具体的に記述する。○○○○○○○○○○○○する。 | ○○○○○○○○○○○○○を指導する。本時の目標を達成するための具体的な指導や工夫などを記述する。また，以下の事柄についても記述する。・生徒の間違いやすいポイント，強調すべきこと・予測される誤答に対する教員の支援内容・実習等を早く終えた生徒に対する指示内容○○○○○○○○○○○○○○○に留意する。 | ・○○○○○○することができる。［思考・判断・表現］どの観点を評価するかを記述し，どこまでできたら「おおむね満足できる状況（Ｂ）」となるか指標を記述する。 |
| まとめ（５分） | ・次時の学習内容の予告 |  |  |

(4) 本時の評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 十分満足できる状況（Ａ） | おおむね満足できる状況（Ｂ） |
| ・○○○○することができる。［思考・判断・表現］ | ○○○○○○○○○○○○○○～～～。 | ○○○○○○○○○○○○○○～～～。 |

Ｃ（努力を要する状況）と判断した生徒への手だて

　　　○○○○○○○○○○○○○○～～～。

８　御高評